



市公式キャラクター
『エーナ』



所 管	教育委員会生涯学習課		
担 当	三宅 英機	問い合わせ	0573-26-2111 (内線 472)

報 道 機 関 各 位

明知城跡総合調査事業の実施について

恵那市明智町に所在する明知城跡（岐阜県史跡）の国史跡指定を目指して、その本質的価値を明らかにするための総合調査を4年計画で実施します。

初年度となる令和6年度は、主として本丸及び出丸の発掘調査を実施し、総合調査事業に着手します。そのための事業費を令和6年度当初予算に計上しますので、お知らせします。

記

1. 明知城跡の概要

明知城は、明知遠山氏の居城として戦国時代に築城された山城。山腹を囲む横堀とこれに連動する畝状堅堀群が特徴的で、近隣では類例が少ないことや、天正2年（1574）に武田勝頼と織田信長が争奪戦をした境目の城であることが知られています。また、西麓には、近世旗本遠山氏の陣屋も構えられており、在地支配の拠点としてだけではなく、江戸時代前期には居館としても機能していました。

明知城跡は、地元では以前からこの地域の重要な城として認識されていましたが、近年の山城ブームや大河ドラマの影響で全国的にも知られるようになり、保存活用と国史跡指定を目指す気運が高まっています。

2. 今後のスケジュール（予定）

本年度実施した測量成果に基づき、令和6年度から発掘調査などの総合調査を行い、国指定史跡を目指します。

- ・令和5年度 測量
- ・令和6～8年度 総合調査
- ・令和7～9年度 報告書作成
- ・令和9年度 報告書に基づき、国に意見を具申

※国史跡指定後、保存活用計画などを策定し、整備に向け準備を進めます



市公式キャラクター
『エーナ』



3. 総合調査

明知城跡の本質的価値を明らかにするため、考古学、歴史学、歴史地理学の各分野による多面的な調査を行います。

- (1) 発掘調査（考古学）
- (2) 遺構配置図作成（考古学）
- (3) 文献調査（歴史学）
- (4) 歴史地理学的調査（歴史地理学）
- (5) 周辺城館跡分布調査（考古学）

4. 令和6年度に行う発掘調査

- (1) 概要 本丸、出丸において、位置や大きさを定めて細長い溝状に地面を発掘するトレンチ調査を行う。
- (2) 面積 160 m²（最大）
- (3) 期間 9月中旬から2カ月程度
- (4) 調査の公開 調査区内は立ち入り禁止となるが、一般の方が外側から見学できるように配慮し、観光にも資するものとする。
調査終了後には、現地説明会を行う。

5. 明知城跡調査検討委員会の設置

各分野の第一線で活躍する有識者による調査指導を受けるため、調査着手に先立ち、標記の委員会を立ち上げる。

6. 令和6年度当初予算

- (1) 歳入 12,259 千円（国宝重要文化財等保存整備費補助金）
- (2) 歳出 24,709 千円（文化財の調査保存活用事業費）